

の指導の基本は「君は5リスベクトを守ることができていましたか?」という問いから始める、ということです。「こんなことをして! 駄目ではないか!」と、凄んで攻めるのではなく、慌てずゆっくりと生徒と向き合っていきます。実際には、きつく叱ったほうが時間も体力も節約できるということは十分承知なのですが、「5リスベクトを守ることができていたか」「なぜ、5リスベクトに反しているか分かるか」「ではこれからどうするのか」、場合によっては「どのような償いをするのか(一週間の自転車置き場整理やフィールドの落ち葉拾いなど、何らかの償いを生徒自身が発案することもあります)」と、じっくり話す時間を持ちます。そうすることで、生徒も教員も、心を整理したり、原因を分析してその根本を断つ方法をとともに考えたりでき、これからに生かしていくことができます。

私が高校一年生の担任を受け持った時には、「5リスベクト」について、こんな話をしたことがあります。「5リスベクトには5つの大切があるけれど、自分を大切に、これだけを守れば良いよ。」生徒たちは、なぜ?という表情をした後、次々に意見を述べてくれました。「SISだからリーダーシップが大切!」「学習を大切にしない、ってよく注意されるよ。学校だし、学習は必要でしょ。」「自分を大切にしたら他人を傷つけたら意味ないと思う!」「〈自分が大切〉は最高やん。めんどくさくないし、楽そうやし。」といういろいろな意見が出たものです。1クラス21人21様の考えが出ました。そこで次に、「ではでは、〈自分を大切に〉とは何だろうか」という話になりました。自分の好き勝手に行動することだろうか、朝、寝たいだけ寝て遅刻をしたり、自分の都合で図書館の本は借りっぱなし、ゴミ箱に行くのが面倒なので教室内にごみを散らかす、これは〈自分を大切に〉することなのだろうか。幾人かの生徒がこう発言しました「何か違うと思う。」「〈自分を大切に〉は、自分にとって楽なことをする、ではないと思う。」ここまで話が進めば、あとはもうほとんど説明不要。〈自分を大切に〉は自分が楽をするためではない。〈自分が楽しく過ごすため〉につながる。自分が楽しく過ごす、たとえば学校生活を楽しくするためにはどうする

牧 百合子(まき ゆりこ)

千里国際学園 中等部・高等部 入学センター・国語科

大学院修士課程修了後、某私立進学校に勤務。そこで、難関大学に入学させるための詰め込み教育や、テストの点数ですべてを割りきる「進学校」という学校教育現場を目の当たりにし、幻滅すると同時にその雰囲気と同化してしまいそうな自分が怖くなり、2年目に退職を決意。退職後すぐに千里国際学園に就職。教科だけでなく心の成長も見守るこの学校の伸びやかな雰囲気、生き生きとした生徒に元気をもらいながら、現在は楽しく教えています。この学校に来て2年半、個性ある生徒たち、ユニークな先生方に囲まれて、毎日が楽しく幸せです。



のか。健康第一だから早寝早起きはもちろん、友達とけんかをすれば学校が楽しくなくなるので〈他人を大切に〉するようになるし、先生に怒られるとまた学校が楽しくなくなるので〈学習を大切に〉する。ゴミだらけだと嫌なので〈環境を大切に〉し、有意義に授業時間を過ごすためには積極的に授業に参加し〈リーダーシップを大切に〉する。だからみんなには〈自分を大切に〉を覚えておいてほしい、と話の最後に付け加えました。SISの「5リスベクト」は、「あれはだめ」「これはだめ」と、行動を規制するものではありません。だからこそ、言われるままに受け入れるだけの「校則」では培われない「自立性」「自主性」が育っていくのだと、私は実感しています。

はたして校則がなく、自由で、あるのは「5リスベクト」だけ。こんなことでうまくいくのか、こんな教育が成り立つのかと、お思いになるかと思います。百聞は一見にしかず、一度SISへお越しください。そして、生徒を見て確かめたいと思います。何ていったって、実のところ、私自身がこんな教育、こんな学校があるなんて、自分の目で見てみるまでは信じられなかったのですから。

千里国際学園 中等部・高等部
〒652-0032 大阪府茨貫面市小野原西 4-4-16
TEL: 072-727-5070 FAX: 072-727-5055
HP: www.senri.ed.jp E-mail: admissions@senri.ed.jp



「多文化」と「共生」。日本の教育の目指すべき方向として、教育者の間で使われる言葉です。それを校則に当てはめると?

多文化・共生の場である千里は、その答えとして「5リスベクト」を実践しています。respectの語源の意味は「人として価値を認めること」だとのこと。その本来の意味からスタートして、学校生活のルールを5つ決め、生徒に考えさせるユニークなやりかたです。他校のモデル?